

IZUNO LIBRARY LETTER

出農図書館で「魂を耕す本」との出会いを

新聞に親しむ4つの入り口



出雲農林高校には毎朝6紙の新聞が配達されます。そして、新聞記事をまとめた雑誌や、新聞記事を検索できるデータベースも利用できます。今回の特集が新聞と皆さんをつなぐきっかけになれば幸いです。

1. 昇降口の新聞コーナー

当日の新聞（日本農業新聞を除く）を昇降口に置いているのでチェックしてみましょう。過去の新聞は図書館にあります。

本校で読むことができる新聞

- ・朝日新聞
- ・山陰中央新報
- ・島根日日新聞
- ・日本農業新聞
- ・毎日新聞
- ・読売新聞

2. 「朝日けんさくくん」

キーワードで朝日新聞の記事が検索・閲覧できるデータベースです。時事問題のワークシートもあり、進路に向けた学習にも活用できます。
※共通のログイン ID/PW が必要。校内ネットワークの下でのみ利用可。

朝日けんさくくん
ログイン画面→



<https://kensaku.asahi.com>

3. 雑誌「月刊新聞ダイジェスト」

6紙の1ヵ月分の主要記事がまとめられた雑誌。雑誌の最後には一般常識問題や時事問題の模擬試験付き！

余談ですが、7月23日の読売新聞に編集現場が取り上げられていました。驚くほど少人数でしかもアナログな方法で編集が行われている様子に胸が熱くなりました。

4. 新聞記事のスクラップ

放課後の図書館で、新聞記事のスクラップをしてみよう！
必要な道具は図書館で用意しています。スクラップした記事はファイルに綴じたり、掲示したりして共有します。

誰でも気軽に参加できる活動です。

※テスト前、テスト期間中（9/16～9/27）は活動しません。

3年生のLHRで「SDGs」をテーマに新聞記事のスクラップをしました♪



わたしのおすすめ

投稿お待ち
しています!



『恋する寄生虫』 三秋継／著 KADOKAWA



あらすじは「失業中の青年・高坂賢吾と不登校の少女・佐藤ひじりが二人で社会復帰に向けてリハビリを行う中で惹かれ合い、恋に落ちる。」という感じです。しかし、二人は恋に落ちて過ごした幸せな日々は長く続かない現実を知り、絶望という壁が二人を隔てます。絶望という壁を乗り越えた先に待っているのはハッピーエンドなのか、またはバッドエンドなのか、あなた自身の目で確かめてはいかがでしょうか。自分はこの本を読み、人間という生き物の尊さを知ることができました。内容が好きで何度も読みました。皆さんも是非読んでみてください。

(動物科学科 1年)

新着図書 PICKUP



農業者になるには
大浦佳代/著 ペリかん社
さまざまな分野の農業者が紹介されています。農業をする人の生き方も多様になっていることがわかります。将来農業の仕事に就きたい人には特におすすめ。農業高校も登場しますよ。



タガヤセ! 日本「農水省の白石さん」が農業の魅力教えます。
白石優生/著 河出書房新社
農水省の公式 YouTube チャンネル「BUZZ MAFF」で Youtuber として活動する白石さんが実はスゴイ日本の農業や農業の未来を語る。



夕暮れに夜明けの歌を
文学を探しにロシアに行く
奈倉有里/著 イースト・プレス
高校卒業後、ロシアに渡り、日本人として初めてロシア国立ゴリキー文学大学を卒業した著者の体験記。



13歳からの地政学
カイゾクとの地球儀航海
田中孝幸/著 東洋経済新報社
高校生と中学生の兄妹と年齢不詳の男「カイゾク」との会話で地政学が楽しく学べる一冊。

編集後記

『夕暮れに夜明けの歌を』はラジオ番組で紹介されたのをきっかけに読んで本。はじめから9ページまで読んで引き込まれました。ロシアとウクライナの戦争で注目を浴びる本ですが、学ぶ喜びや人との出会いなど著者の体験をつづったその言葉がとても魅力的です。高校生の皆さんにもおすすめです。